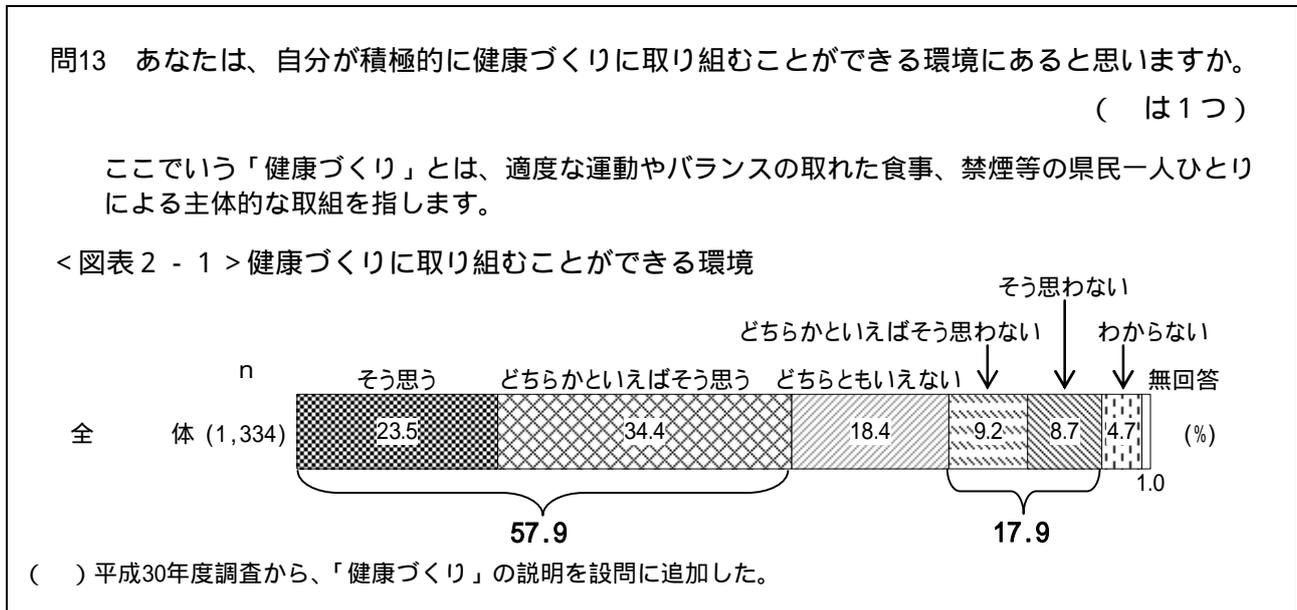


2 健康について

（1）健康づくりに取り組むことができる環境

『そう思う（計）』が約6割



自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(23.5%)と「どちらかといえばそう思う」(34.4%)を合わせた『そう思う(計)』(57.9%)が約6割で高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(9.2%)と「そう思わない」(8.7%)を合わせた『そう思わない(計)』(17.9%)は約2割となっている。(図表2 - 1)

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)

n	そう思う(計)	そう思わない(計)	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成28年度調査 (1,540)	51.7	21.3	27.0
平成29年度調査 (1,456)	50.9	19.7	29.4
平成30年度調査 (1,334)	57.9	17.9	24.1

【地域別】

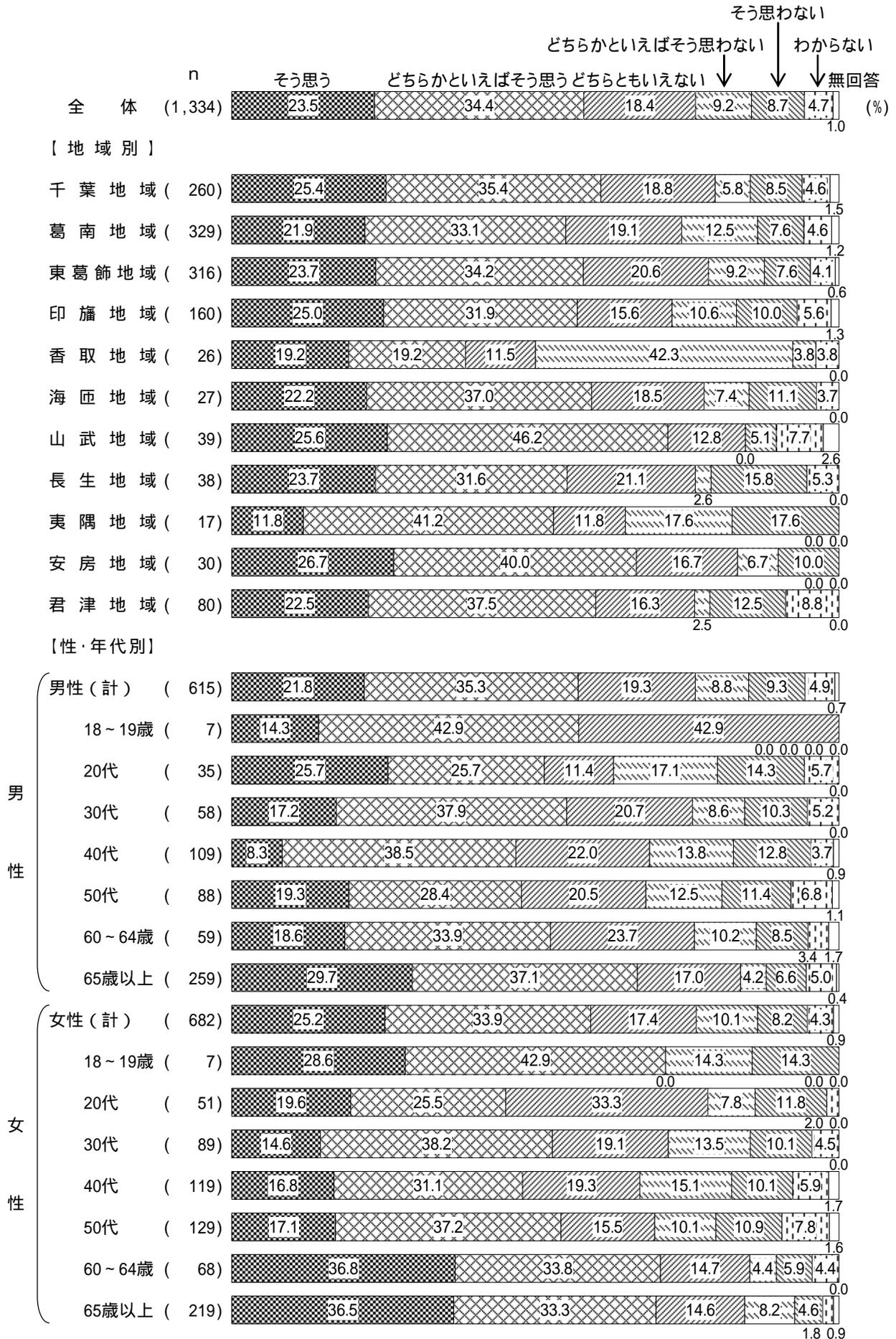
地域別にみると、『そう思わない(計)』は“香取地域”(46.2%)が4割台半ばで高くなっている。(図表2 - 2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う(計)』は女性の60~64歳(70.6%)が7割、女性の65歳以上(69.9%)が約7割、男性の65歳以上(66.8%)が6割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は男性の20代(31.4%)が3割を超え、男性の40代(26.6%)と女性の40代(25.2%)が2割台半ばで高くなっている。(図表2 - 2)

<図表2 - 2> 健康づくりに取り組むことができる環境／地域別、性・年代別



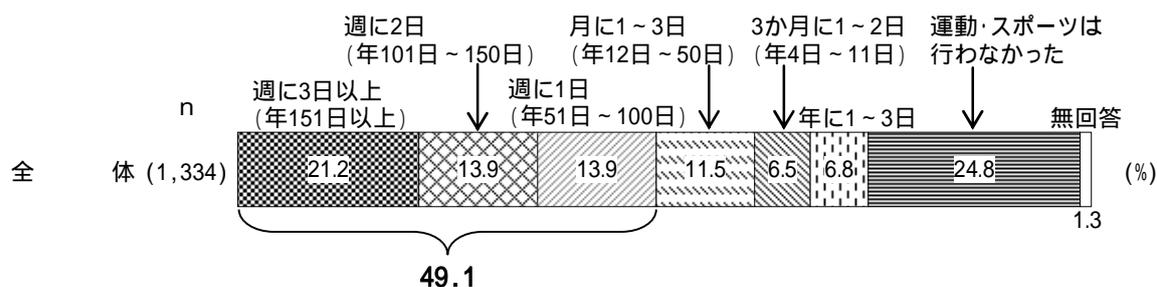
（2）健康づくりのための運動

『週1日以上運動した（計）』が約5割

問14 あなたは、健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行いましたか。
（は1つ）

ここでいう「運動やスポーツ」とは、比較的軽い運動やスポーツ（ウォーキングや軽い体操、ダンスなどのレクリエーション活動等）を含みます。

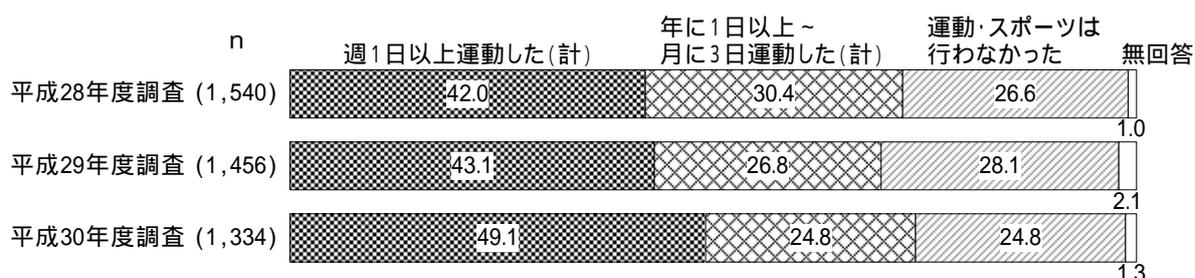
<図表2-3>健康づくりのための運動



健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行ったか聞いたところ、「週に3日以上（年151日以上）」（21.2%）と「週に2日（年101日～150日）」（13.9%）、「週に1日（年51日～100日）」（13.9%）を合わせた『週1日以上運動した（計）』（49.1%）は約5割となっている。

一方、「運動・スポーツは行わなかった」（24.8%）は2割台半ばとなっている。（図表2-3）

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



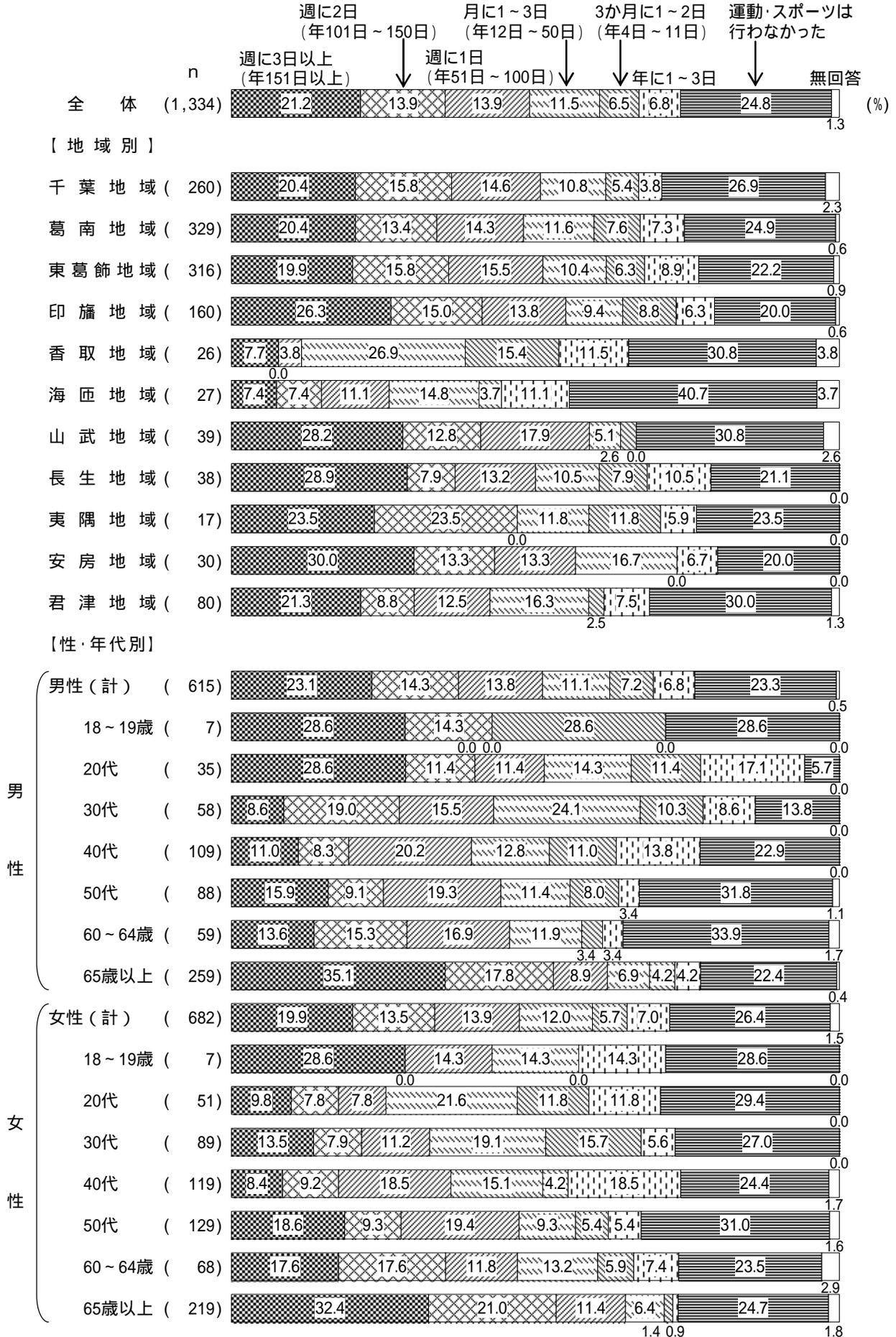
【地域別】

地域別にみると、「月に1～3日（年12日～50日）」は“香取地域”（26.9%）が2割台半ばで高くなっている。（図表2-4）

【性・年代別】

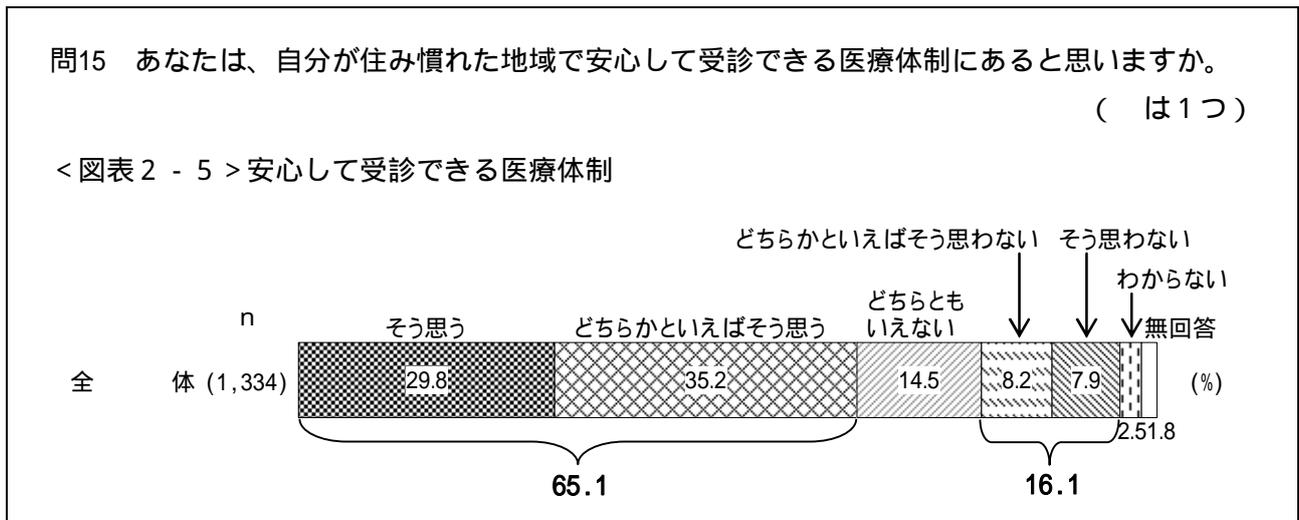
性・年代別にみると、『週1日以上運動した（計）』は女性の65歳以上（64.8%）が6割台半ば、男性の65歳以上（61.8%）が6割を超えて高くなっている。（図表2-4）

<図表2 - 4> 健康づくりのための運動 / 地域別、性・年代別



（3）安心して受診できる医療体制

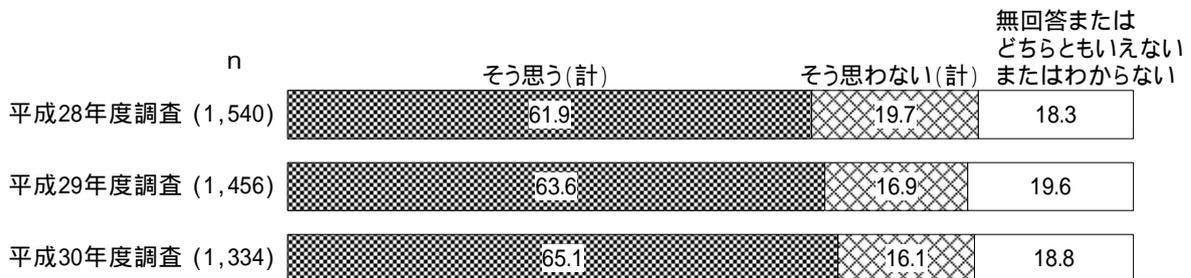
『そう思う（計）』が6割台半ば



住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思うか聞いたところ、「そう思う」（29.8%）と「どちらかといえばそう思う」（35.2%）を合わせた『そう思う（計）』（65.1%）が6割台半ばで高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（8.2%）と「そう思わない」（7.9%）を合わせた『そう思わない（計）』（16.1%）は1割台半ばとなっている。（図表2 - 5）

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、『そう思わない（計）』は“香取地域”（65.4%）が6割台半ば、“海匠地域”（40.7%）が4割、“夷隅地域”（35.3%）が3割台半ば、“長生地域”（31.6%）が3割を超えて高くなっている。（図表2 - 6）

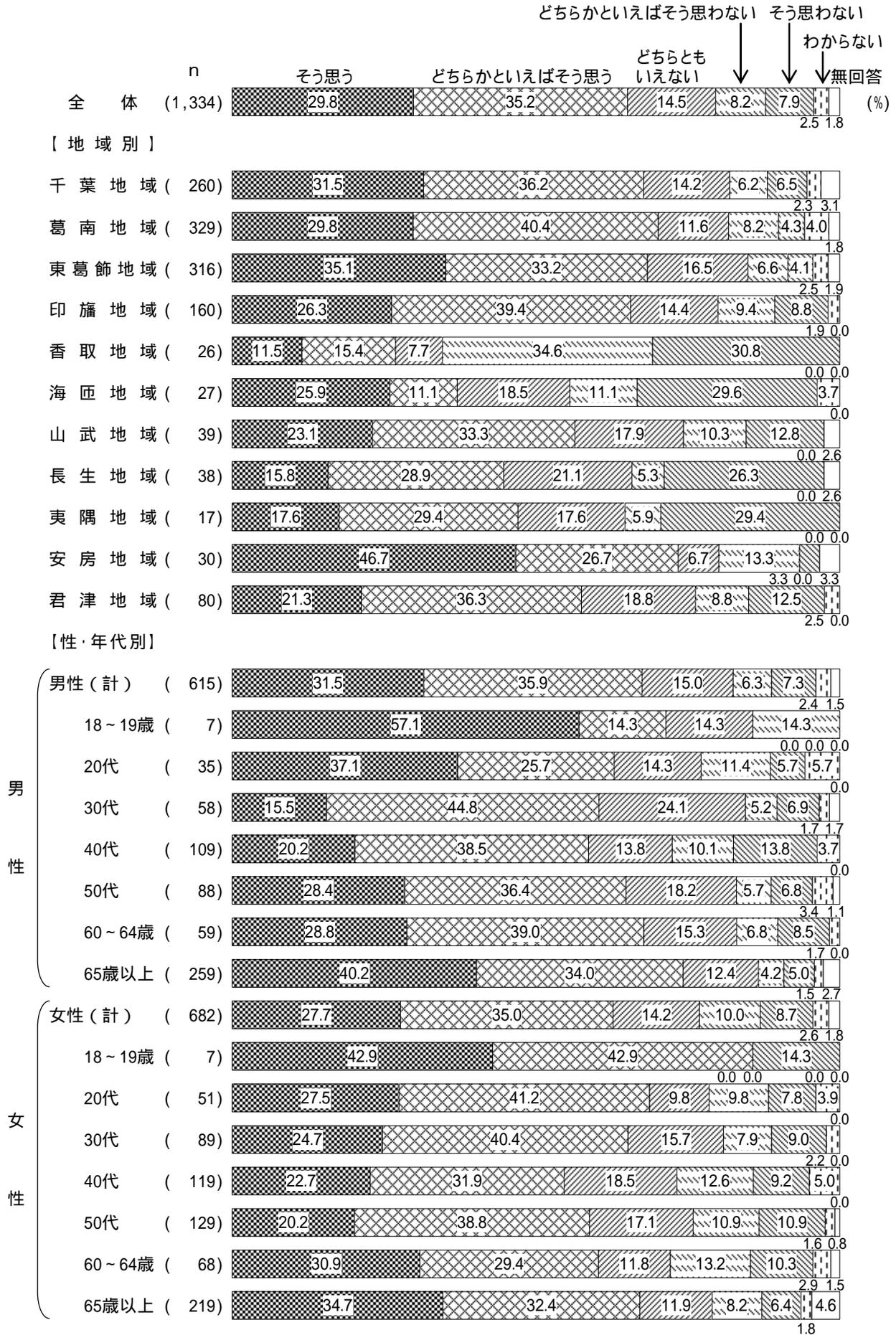
【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計）』は男性の65歳以上（74.1%）が7割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』は男性の40代（23.9%）が2割台半ばで高くなっている。

（図表2 - 6）

<図表2 - 6> 安心して受診できる医療体制 / 地域別、性・年代別



（４）かかりつけ医の有無

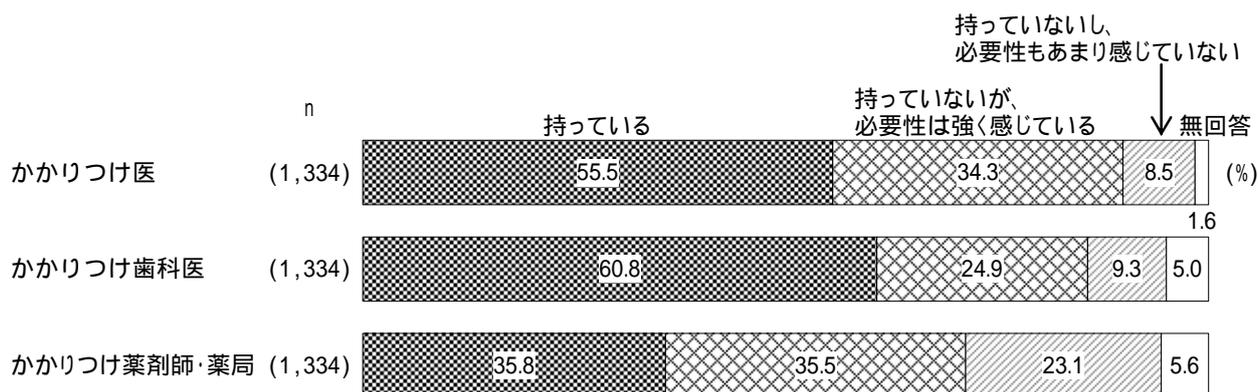
かかりつけ歯科医を持っているが6割、かかりつけ医を持っているが5割台半ば

問16 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要なときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師（歯科医、薬剤師・薬局）を、「かかりつけ医（歯科医、薬剤師・薬局）」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医、薬剤師・薬局）」をお持ちですか。

（はそれぞれ1つずつ）

<図表2 - 7> かかりつけ医の有無



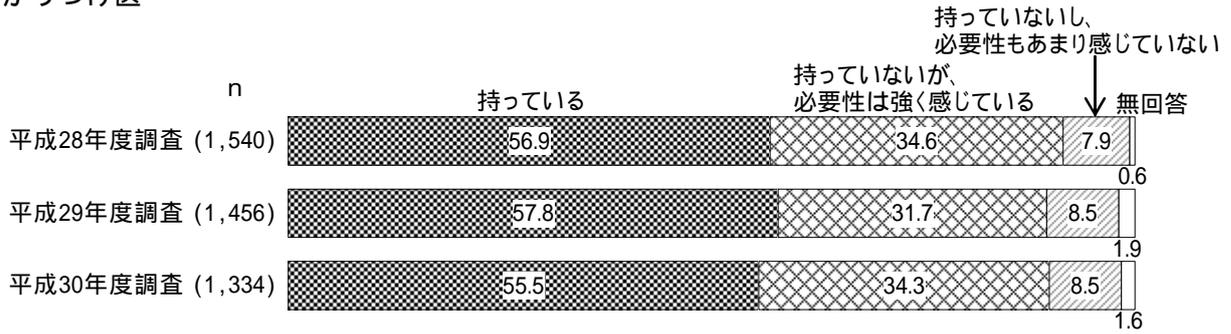
かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師・薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は かかりつけ歯科医（60.8%）が6割、 かかりつけ医（55.5%）が5割台半ば、 かかりつけ薬剤師・薬局（35.8%）が3割台半ばとなっている。

また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は かかりつけ薬剤師・薬局（35.5%）と かかりつけ医（34.3%）が3割台半ばとなっている。

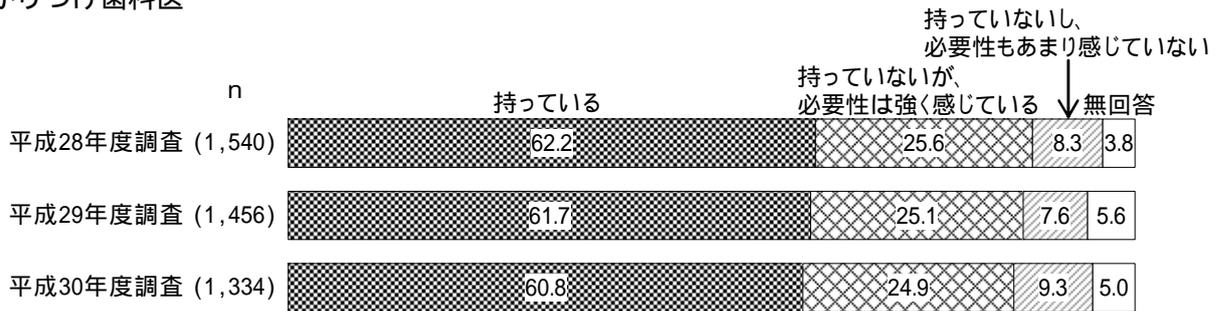
「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は かかりつけ薬剤師・薬局（23.1%）が2割を超えている。（図表2 - 7）

〔参考〕平成28年度・平成29年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

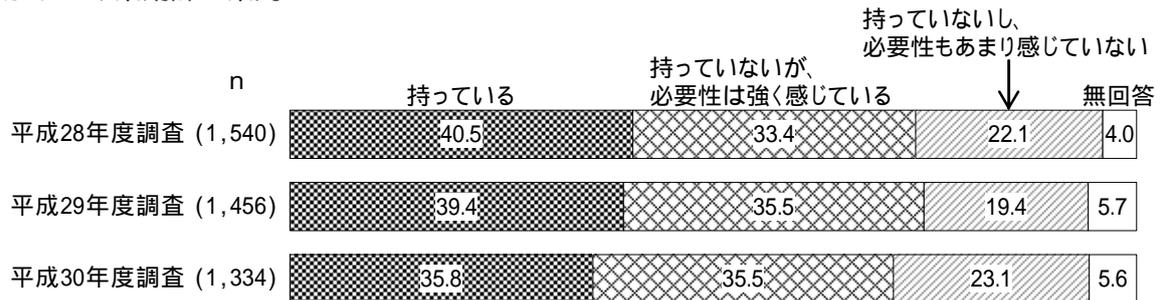
かかりつけ医



かかりつけ歯科医



かかりつけ薬剤師・薬局



【地域別】

地域別にみると、かかりつけ薬剤師・薬局を「持っていないが、必要性は強く感じている」は“香取地域”(61.5%)が6割を超えて高くなっている。(図表2-8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、かかりつけ医を「持っている」は女性の65歳以上(74.9%)が7割台半ば、男性の65歳以上(69.1%)が約7割で高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は男性の40代(50.5%)が5割で高くなっている。

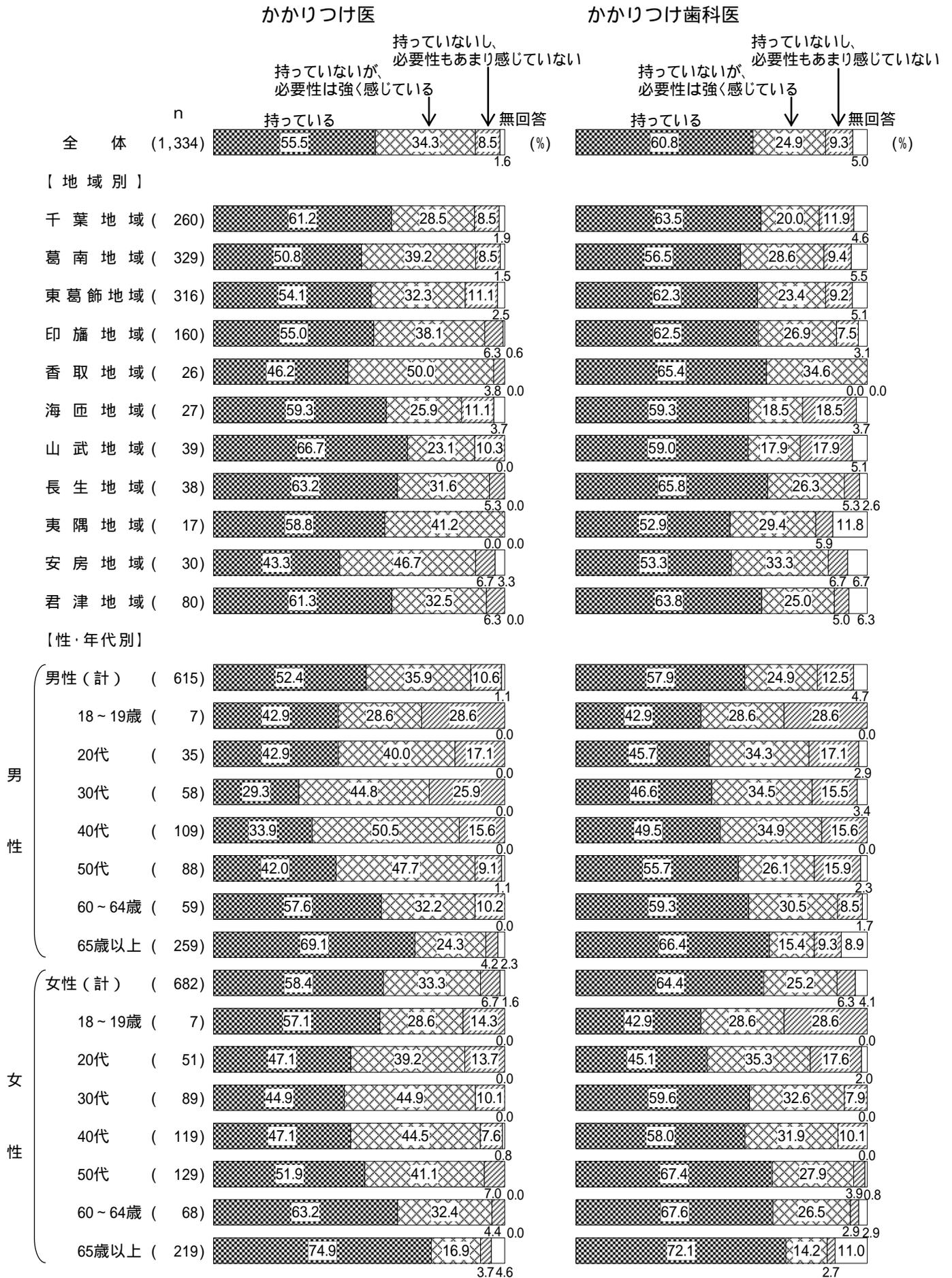
かかりつけ歯科医を「持っている」は女性の65歳以上(72.1%)が7割を超えて高くなっている。

かかりつけ薬剤師・薬局を「持っている」は女性の65歳以上(52.5%)が5割を超え、男性の65歳以上(44.0%)が4割台半ばで高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は女性の30代(48.3%)が約5割で高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は男性の30代(43.1%)が4割を超えて高くなっている。(図表2-8)

<図表2 - 8> かかりつけ医の有無/地域別、性・年代別



かかりつけ薬剤師・薬局

